

三重県 南伊勢町のインフラについて

公共土木施設の概要

町道

・ 1,240路線 L=350km

町河川

・ 158河川 L=131km

主な道路施設

・ 橋梁(町道) 308橋



・ トンネル(町道) 1本



インフラメンテナンスにおける現状・取組

1.管内インフラの健全度（維持状況）

○橋梁

点検1巡目(H26～H30) Ⅲ判定：28橋 → R2修繕完了

点検2巡面(R1～R5) Ⅲ判定：12橋 → R7修繕完了予定

○トンネル

点検1巡目(H26～H30) Ⅱ判定：1本 → R5修繕完了(2巡目Ⅰ判定に)

2.新技術の適用

過去5年間は、主に小規模橋梁の修繕を実施。設計時に新技術の検討は実施しているが、導入には至っていない。

3.インフラの撤去・集約

施設利用状況の情報収集、地元との協議を実施。

インフラメンテナンスにおける課題・方針

1. 予防保全型のメンテナンスサイクルの確立

→環境状況の影響もあり、Ⅱ判定からⅢ判定へ進行する施設が多い。
より予防保全型への移行が必要。

2. 新技術の適用

→点検も含め、修繕について、新技術の情報収集、整理等を積極的に行い、新技術の導入に適合した環境を整備する。

3. インフラの撤去・集約

→今後も施設利用状況等の変化を整理し、地元、利用者との協議を実施していく。